

2009年3月31日発行

代表質問

3月の1日の日曜日、**休日議会**が開かれ、各会派の代表質問が行われました。政和会(自民)・**並木 傑**、公明党・**亀田博子**、共産党・**笠原進**、刷新の会(無所属・民主)・**平松大佑**、語る会(無所属)・**たかむらともや**の順番で「**市長の施政方針**」に対する質問が行われました。

語る会・たかむらともやは**16項目**に渡り質問しました。その中のいくつかを紹介します。

3つのアップに？

1. 市長は「**職員力、教育力、市民力**のアップを基本とした、魅力あるまちづくりを実現する」と言っていますが、市民が生き生きと暮らせる街と言うのなら、公民館やコミセンはその設立目的から言っても無料にすべきだし、**環境や教育にもっと予算を投入すべき**です。

*新座市の中学生一人当たりの教育予算は首都圏90都市(人口10万人以上)の中で**最下位**です(サンデー毎日11月号)。確かに耐震補強工事は23校全て終わっていますが、大規模改修工事は予定年度より大幅に遅れ、毎年出される各小中学校からの改修・改善要望にも殆ど応えられていないのが現状です。

「**財政難**」のツケが教育現場に与える影響は大です。公民館・コミセンといった「社会教育」を支える施設は設置目的から言っても使用料は「無料」が原則。その使用料は年間1300万程度。市長・議長・教育長の**公用車を廃止**すれば楽に無料にできます。今年度の下水道の値上げ額は実に年間1億5000万。市民に税の負担をお願いするだけで、市民のまともな要望には応えないのでは何のための政治か分かりません。「市民力アップ、教育力アップ」はいつものように掛け声だけ。**予算が伴わなければ意味がありません。**

公立保育園の新設・増設を！

5. 施政方針で市長は「多様化する保育園需要への対応を図るため、**民営化**も視野に入れ、公立保育園のありかたについて検討していく。」と言っています。社会が不安定な今こそ、公立保育園の新設・増設が求められているのではないのでしょうか。

*保育園の**待機状況は酷い**ものです。昨年11月末で**194名**となっています。「働きたくても、保育園に入れなくて働けない。」「なかなか入れないので高くても遠い民間の保育所に預けて働いたら、**赤字**になってしまった。」「仕事は続けたい。でも、働けば**赤字**になるんです！」「保育園に何とか入れないでしょうか。」そういう切実な声が沢山聞こえてきます。そういう時こそ、政治の出番なはず。市民から頂いた税金を市民の為に使っていく。そして、そのことが市の財政にもプラスに繋がっていく。公立保育園はまさにそういう役割を持った施設ではないのでしょうか。学童保育の大規模問題といい、保育園の待機児童の問題といい、とても「**子育て応援都市**」とは思えません。新座駅北口の**区画整理(128億)**をやめても、**保谷・朝霞線(100億)**を造らなくても、**保育園の新設は十分可能**なんです。



写真はひかり第二保育園。夕方、子ども達と保育士さん達が楽しそうに遊んでいました。親は大安心。保育園は働く親にはなくてはならない施設です。

③ 大和田小学校の大問題

3月5日の全員協議会で大和田小学校の新1年生が**40人学級**編成で行うことが明らかになりました。埼玉県内の小学校では1・2年生は全て35人の学級編成できるのですから、明らかに逆行しています。**新座駅周辺の開発**が進み、児童数が増えることは**何年も前から指摘**されていたことです。世界の流れが「少人数学級」に向かっている中で、今回の「多人数学級化」は**教育委員会の怠慢**と言われてもしょうがありません。そもそも畑中3丁目や野火止8丁目の児童が**1時間近く**かけて、**危険な旧川越街道**を登下校すること自体がおかしいのです。「新設校は国の補助金がもらえないから造れない。」と市長。それなら「**学区変更**」しか残された道はないはずです。その**決断**を延ばしてきたことが、今回の新1年生「多人数学級」に繋がったのです。

③ 正規雇用と非正規雇用

3月議会の僕の質問に対する資料で新座市役所の非正規雇用職員は**36.2%**もいることが分かりました。平成19年度の労働時間・給料の平均を比べると、労働時間は4分の3ですが、給料は正規雇用(係長級以下)の**550万円**に対して**132万円と4分の1以下**。時間給に直しても3分の1であることが分かりました。しかも**経験加算はなく、病休もありません**。「パートタイム労働法」が改正され、職務内容が同じならば、待遇は正規と同一の方法で決定するように努めるもの。となったのですから、新座市の非正規職員の待遇は明らかに異常です。教職員の場合、県の正規職員と非正規職員の平均労働時間は殆ど同じ、給料は**727万円**に対して**661万円**とおおよそ**10分の9**。ところが、市採用の教職員は正規教職員に対して平均労働時間は4分の3ですが、給料は727万に対して**204万円**。やはり**3分の1以下**なのです。市採用の教職員は全体の**10%**も占めています。子どもたちの為にも市採用の先生達の労働条件の改善が必要です。市がワーキングプアを生み出してはいけないのです。

③ ああ都市計画道路！



東久留米・志木線のマルフジ付近です。工事は遅れを取り戻そうと急ピッチ。しかしこの道路1440mが完成するのは**早くても5年後**。それまで**石神地区**は繋がりません。**54億**(最短で10年)もかけて水道道路に接続するだけの道路になります。**これより広い道路が、保谷・朝霞線です**。東久留米・志木線によって、**分断された石神地区**を見たら、**野寺地区の未来**が予想できます。保谷・朝霞線の計画は、調布・保谷線が出来上がってからでいい。**放射7号もできる**。実際には**渋滞にはならないかも知れない**。県も市も財政難なのだから様子を見てからでいい。僕はそう思います

《お知らせ》

黒目川の川掃除を毎月一度しています。基本は第一日曜日ですが、5月は連休を避けて17(日)朝9時~11時、栗原一丁目公園集合です。魚類調査も予定しています。途中参加も大歓迎です！トング、軍手、ゴミ袋はこちらで用意します。

たかやんのプロフィール

本名たかむらともや。東京都新宿区生まれ。新宿区立西戸山中学、都立石神井高校を経て北海道大学へ。1977年から教師として五中・六中・二中で21年間を過ごし退職。2004年の選挙で初当選。どの政党にも、どの会派にも属せず一人会派「語る会」で、しがらみのない発言をし続けている。新堀・石神「たかやん塾」塾長。障がい者支援団体「よこ糸をつむぐ会」メンバー。「黒目川川づくり懇談会」「にいざ教育委員会」代表。石神3丁目在住。ご感想・ご意見・ご提案をお待ちしています。たかやん ③

たかやんの連絡先

自宅 042-456-8869

携帯 090-6497-5737

mail: takayanchan@jcom.home.ne.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106